

マイケル・P・ウイリアムス
アルバン・M・コジマ
共編

続日本随筆大成

総目次・索引

日本学研究所蔵部
ヴァン・ペルト図書館
ペンシルヴァニア大学

Table of Contents and Index to *Zoku Nihon Zuihitsu Taisei*

compiled by Michael P. Williams and Alban M. Kojima
for educational purposes only

Japanese Studies Collection
Van Pelt-Dietrich Library
University of Pennsylvania

January, 2009

目次

總目次	1
編述者索	5
題名索引	9

総目次

第1巻

講習餘筆	中村蘭林	頁一
雲室隨筆	釈雲室	頁七五
坐臥記	桃西河	頁一〇三
しがらみ	広瀬蒙齋	頁二五五
消夏雜識	松本愚山	頁二七五

第2巻

常山楼筆餘	湯浅常山	頁一
寢ざめの友	近藤万丈	頁九一
九桂草堂隨筆	広瀬旭莊	頁一二七

第3巻

見し世の人の記	脇蘭室	頁一
拙古先生筆記	奥田尚齋 (奥田元繼)	頁三一
振觚	河野鐵兜	頁五三
寒檠瓊綴	浅野梅堂	頁一二三
過庭餘聞	楠本碩水 (楠本正脩)	頁三〇七

第4巻

一字訓	雨森芳洲	頁一
護園雜話	著者未詳	頁六三
醉迷餘録	中根香亭	頁一〇九
零碎雜筆	中根香亭	頁一九五
塵塚	中根香亭	頁三二一

第5巻

間思隨筆	加藤景範	頁一
对鷗楼閑話	倉成龍渚	頁三一
自覚談	村山太白	頁一〇七
気吹舎筆叢	平田篤胤	頁一四一
宿直物語	沢田名垂	頁二〇九
待問雜記	橘守部	頁二三七

第6巻

仙語記	村田春海	頁一
退閑雜記	松平定信	頁二二
閑度雜談	中村新齋	頁二五五

総目次

第7巻	一昔話	加藤良斎	頁一
	碩鼠漫筆	黒川春村	頁二一
第8巻	寓意草	岡村良通	頁一
	紫のゆかり	山岡俊明	頁七七
	所以者何	大田南畝 問	
	松の下草	田宮橘庵 答	頁九九
	春夢独談	黒川盛隆	頁一三一
	ありやなしや	沢近嶺	頁一五七
		清水礫洲	頁二六五
第9巻	古今物忘れの記	建部綾足	頁一
	屠龍工随筆	小栗百万	頁二一
	松楼私語	大田南畝	頁七五
	落葉の下草	藤井高尚 問	
		中村歌右衛門 答	頁八七
	歌舞妓雑談	中村芝翫編	頁九五
	かしのくち葉	中島広足	頁一一五
第10巻	醍醐随筆	中山三柳	頁一
	杏林内省録	緒方惟勝	頁六一
	黄華堂医話	橘南谿	頁二三一
	老牛餘喘	小寺清之	頁二六一
	貧政	勝田半斎	頁三五九
第11巻	寐ものがたり	鼠溪	頁一
	久保之取蛇尾	入江昌喜	頁九九
	犬鷄随筆	間宮永好	頁二四九
第12巻	強斎先生雑話筆記	山口春水	頁一
	しづのおだまき	小冥野夫	頁二七七

総目次

別巻1

近世風俗見聞集1

そゞろ物語 (三浦浄心)
むかしむかし物語 (財津種莖)
元文世説雑録

頁一
頁二九
頁六九

別巻2

近世風俗見聞集2

月堂見聞集上 (巻1-8) (本島知辰編)

別巻3

近世風俗見聞集3

月堂見聞集中 (巻8-18) (本島知辰編)

別巻4

近世風俗見聞集4

月堂見聞集下 (巻19-29) (本島知辰編)

別巻5

近世風俗見聞集5

久夢日記
元禄宝永珍話
享保世話

頁一
頁一五三
頁三二九

別巻6

近世風俗見聞集6

宝暦現来集上 (巻1-11) (山田桂翁)

別巻7

近世風俗見聞集7

宝暦現来集下 (巻11-21) (山田桂翁)

別巻8

近世風俗見聞集8

寛保延享江府風俗志
天弘録
花吹雪隈手廼塵 (恕堂閑人)

頁一
頁二七
頁一二七

総目次

別巻9

近世風俗見聞集9

巷街贅説上(巻1-4) (人齋翁)

別巻10

近世風俗見聞集10

巷街贅説下(巻5-7) (人齋翁)
豊芥子日記 (石塚豊芥子)

別巻11

民間風俗年中行事上

諸国年中行事	(操扨子)	頁一
増補江戸年中行事		頁八七
<small>主石</small> 東都歳時記	(石井蠡)	頁一一五
山城四季物語	(坂内直頼)	頁一三一
案内者	(中川喜雲)	頁二一七
閩里歳時記	(川野辺寛)	頁三二五
正月揃	(白眼居士)	頁三六九

別巻12

民間風俗年中行事下

北里年中行事	(花楽散人)	頁一
芝居年中行事	(はじゆう)	頁一七
おとしばなし年中行事	(林屋正蔵)	頁二九
民間時令	(山崎美成)	頁六九
年中故事	(玉田永教)	頁一一三

別冊

新耽奇会図録

小出昌洋 監修
加賀翠溪 (加賀豊三郎) 編

あさのばいどう
浅野梅堂

寒檠瓊綴(かんけい)
(さてつ)

あめのもりほうしゅう
雨森芳洲

一字訓(いちじ)
(く)

いけすかさんじん
池須賀散人

市川栢莚舎事録(いちかわはくえ)
(んしゃじろく)

いしいれい いししほう
石井蠡(石井士彭)

石井 東都歳時記(いししほうと)
(うとさいじき)

いしづかほうかいし
石塚豊芥子

豊芥子日記(ほうかい)
(しにつき)

いりえしよつき
入江昌喜(いりえまさよし)

久保之取蛇尾(くほの)
(すさび)

うんしつ
雲室

雲室随筆(うんしつ)
(ずいひつ)

おおたなんぼ
大田南畝

松楼私語(しょうろ)
(うしご)

所以者何(ゆえは)
(なに) ⑩

おがたいしゅう
緒方惟勝

杏林内省録(きょうりんな)
(いせいりく)

おかむらよしみち
岡村良通

寓意草(ぐうい)
(そう)

おくだげんけい おくだしよっさい
奥田元継(奥田尚斎)

拙古先生筆記(せつこせん)
(せいひつ)

おぐりひやくまん しげん
小栗百万(旨原)

屠龍工随筆(とりょうこ)
(うずいひつ)

かがすいけい かがとよさぶろう
加賀翠溪(加賀豊三郎)

新耽奇会図録(しんたんき)
(かいずろく) ⑩

かったはんせい
勝田半斎

貧政(ひん)
(せい)

かとうかげのり
加藤景範

間思随筆(かんしず)
(いひつ)

かとうこんさい
加藤良斎

一昔話(いっせ)
(きわ)

からくさんじん
花楽散人

北里年中行事(ほくりねんじ)
(ゆうぎやうじ)

かわのべかん
川野辺寛

閻里歳時記(りよりさ)
(いじき)

くすもとせいしゅう
楠本正脩

楠本碩水(楠本碩水)
(かてい)

くらなりりゅうしよ
倉成龍渚

对鷗楼閑話(たいおうろ)
(うかんわ)

くろかわはるむら
黒川春村

碩鼠漫筆(せきそま
んびつ)

くろかわもりたか
黒川盛隆

松の下草(まつし
たぐさ)

こいでまさひろ
小出昌洋

新耽奇会図録(しんたんき
かいずろく) ㊦

こうのてつとつ
河野鐵兜

掬觚(すう
こ)

こでらきよゆき
小寺清之

老牛餘喘(ろうぎゆ
うよぜん)

こんどつまんじょう
近藤万丈

寝ざめの友(ねざめ
のとも)

ざいつしゆそつ
財津種莖

むかしむかし物語(むかしむかし
ものがたり)

さかうちなおよ
坂内直頼

山城四季物語(やましろしき
ものがたり)

さわだめいすい
沢田名垂

宿直物語(とのいも
のがたり)

さわちかね
沢近嶺

春夢独談(しゆんむ
どくだん)

しげん
旨原

おぐりひやくまん
↓ 小栗百万

しみずれきしゆう
清水礫洲

しみずせいしゆん
(清水正巡)
ありやなしや

しょうていきんすい
松亭金水

たいへいらく
太平楽皇国性質
(みくにかたき)

しょうみょうやふ
小冥野夫

しづのおだまき

じょうかうかんじん
恕堂閑人

はなぶまき
花吹雪隈手廻塵
(までのちり)

じんさいおう
人齋翁

ざいせつ
巷街贅説
(ざいせつ)

そうしし
操卮子

しよこねんじ
諸国年中行事
(ゆうぎようじ)

そけい
鼠溪

ねもの
寐ものがたり
(がたり)

たけべあやたり
建部綾足

ここんもの
古今物忘れの記
(わすれのき)

たけもとせきてい
竹本石亭

せきてい
石亭画談
(がだん)

たちばななんけい
橘南谿

こうかど
黄華堂医話
(ういわ)

たちばなもりへ

橋守部

待問雑記(たいもんざっき)

たまだながよし

玉田永教

年中故事(ねんじゆうちごと)

たみやきつあん

田宮橋庵答

所以者何(ゆえはなに)

なかがわきうん

中川喜雲

案内者(あんないしや)

なかじまこうそく

中島広足

かしのくち葉(かしのくちば)

なかねこうてい

中根香亭

酔迷餘録(すいめいよるく)

塵塚(ちりづか)

零碎雑筆(れいさいざっぴつ)

なかむらうたえもん

中村歌右衛門

落葉の下草(おちばのしたくさ) 答

なかむらしかん

中村芝翫

歌舞妓雑談(かぶきざうだん) 編

なかむらしんさい

中村新斎

閑度雑談(かんどざうだん)

なかむららんりん

中村蘭林

講習餘筆(かうしゆよひつ)

なかやまさんりゆう

中山三柳

醍醐随筆(だいごずいひつ)

にしだしゆんこう

西田春耕

口嗜小史(こうしきせうし)

はくがんこじ

白眼居士

正月揃(しょうがつぞろえ)

はじゆう

はじゆう

芝居年中行事(しばいねんじゆうぎやうじ)

はやしやしやうぞう

林屋正蔵

おとしばなし年中行事(おとしばなしねんじゆうぎやうじ)

ひらたあつたね

平田篤胤

気吹舎筆叢(いぶきのやひつそう)

ひろせきよくそう

広瀬旭荘

九桂草堂随筆(きゅうけいどうずいひつ)

ひろせもうさい

広瀬蒙斎

しがらみ

ふじいたかなお

藤井高尚

落葉の下草(おちばのしたくさ) 問

まつだいらさだのぶ

松平定信

退閑雑記(たいかんとんざっき)

まつもとぐざん
松本愚山

消夏雑識(しょうかざっしき)

まみやえいこう
間宮永好(まみやながよし)

犬鷄隨筆(けんけいずいひつ)

みうらじょうしん
三浦浄心

そごろ物語(そごろものがたり)

むらたはるみ
村田春海

仙語記(せんごき)

むらやまたいはく
村山太白

自覚談(じかく)

もとじまともたつ
本島知辰

(もとじまちしん)
月堂見聞集(げつどうけんもんしゅう)



ももさいが

桃西河(ももせいか)

坐臥記(ざがき)

やまおかまつあけ
山岡浚明

紫のゆかり(むらさきのゆかり)

やまぐちしゆんすい
山口春水

強齋先生雑話筆記(きょうさいせんせいいざつわひつき)

やまさきよしげ
山崎美成

民間時令(みんかんきらい)

やまだけいおう
山田桂翁

宝曆現来集(ほうりやくげんらいしゅう)

ゆあさじょうけん
湯浅常山

常山楼筆餘(じょうざんろうひつよ)

わかばやしきよつざい
若林強齋

強齋先生雑話筆記(きょうさいせんせいいざつわひつき)



わきらんしつ
脇蘭室

見し世の人の記(みしよのひと)

著者未詳

寛保延享 江府風俗志(かんぼうえんきょうごうふうぞくし)

久夢日記(きゅうむ)

享保世話(きょうほ)

護園雑話(ごえん)

元文世説雑録(げんぶんせせ)

元禄宝永珍話(げんろくほう)

増補江戸年中行事(ぞうほえとねんじゅうごうじ)

天弘録(てんご)

あ行

ありやなしや
 あんないしゃ
 いしいしほうとうとさいじき
 いちかわはくえんしゃじろく
 いちじくん
 いっせきわ
 いぶきのやひっそう
 うんしつずいひつ
 えどねんじゆうぎようじ
 おちばのしたくさ
 おとしばなしねんじゆうぎようじ

ありやなしや 第八巻・頁二六五
 案内者 別巻十一・頁二一七
 石井士彭東都歳時記 別巻十一・頁一一五
 市川栢莚舎事録 第九巻・頁二九五
 一字訓 第四巻・頁一
 一昔話 第七巻・頁一
 気吹舎筆叢 第五巻・頁一四一
 雲室随筆 第一巻・頁七五
 江戸年中行事 ↓「ぞうほえどねんじゆうぎよう」 第九巻・頁八七
 落葉の下草 別巻十二・頁二九
 おとしばなし年中行事 別巻十二・頁二九

か行

かしのくちば
 かていよぶん
 かぶきぞうだん
 かんけいさてつ
 かんけいそつてつ
 かんしずいひつ
 かんどぎつだん
 かんぼうえんきようこうふふうぞくし

かしのくち葉 第九巻・頁一一五
 過庭餘聞 第三巻・頁三〇七
 歌舞妓雑談 第九巻・頁九五
 寒檠瓊綴 第三巻・頁一二三
 ↓「かんけいさてつ」
 間思随筆 第五巻・頁一
 閑度雑談 第六巻・頁二五五
 寛保延享江府風俗志 別巻八・頁一

きゆうけいそうどうずいひつ
 きゆうむにっき
 きようさいせんせいざつわひつき
 きようほうせわ
 きょうりんないせいろく
 きんせいふうぞくけんもんしゅう
 ぐういそう
 くぼのすさび
 げつどうけんもんしゅう
 けんえんざつわ
 けんけいずいひつ
 げんぶんせせつざつろく
 げんろくほうえいちんわ
 こうがいせいせつ
 こうかどういわ
 こうししゅうし
 こうしゅうよひつ
 こうふふうぞくし
 ここんものわすれ
 ここんものわすれのき

九桂草堂隨筆 第二卷・頁一二七
 久夢日記 別卷五・頁一
 強齋先生雜話筆記 第十二卷・頁一
 享保世話 別卷五・頁三二九
 杏林内省録 第十卷・頁六一
 近世風俗見聞集 別卷一〜十
 寓意草 第八卷・頁一
 久保之取蛇尾 第十一卷・頁九九
 月堂見聞集 別卷二〜四
 護園雜話 第四卷・頁六三
 犬鷄隨筆 第十一卷・頁二四九
 元文世説雜録 別卷一・頁六九
 元禄宝永珍話 別卷五・頁一五三
 巷街贅説 別卷九〜十
 黄華堂医話 第十卷・頁二三一
 第九卷・頁二三一
 口嗜小史 第九卷・頁一
 講習餘筆 第一卷・頁一
 江府風俗志 ↓「かんぼうえんきようこうふふうぞくし」
 古今物忘れ ↓「ここんものわすれのき」
 古今物忘れの記 第九卷・頁一

さ行

ざがき
 じかくだん

坐臥記
 自覚談

第一卷・頁一〇三
 第五卷・頁一〇七

しがらみ
 しづのおだまき
 しづのおだまき
 しばいねんじゆうぎようじ
 しゅんむどくだん
 しいしやが
 しようかざつしき
 しようがつぞろえ
 じようざんろうひつよ
 しようろうしご
 しょくくねんじゆうぎようじ
 しんたんきかいずろく
 すいめいよろく
 すうこ
 せきそまんびつ
 せきそまんろく
 せきていがだん
 せつこせんせいひつき
 せんごき
 ぞうほえどねんじゆうぎようじ
 そぞろものがたり

た行

たいおうろうかんわ

しがらみ 第一卷・頁二五五
 ↓「しづのおだまき」
 しづのおだまき 第十二卷・頁二七七
 芝居年中行事 別卷十二・頁一七
 春夢独談 第八卷・頁一五七
 ↓「ゆえはなに」
 消夏雑識 第一卷・頁二七五
 正月揃 別卷十一・頁三六九
 常山楼筆餘 第二卷・頁一
 松楼私語 第九卷・頁七五
 諸国年中行事 別卷十一・頁一
 新耽奇会図録 別冊
 醉迷餘録 第四卷・頁一〇九
 振觚 第三卷・頁五三
 碩鼠漫筆 第七卷・頁二一
 碩鼠漫録 ↓「せきそまんびつ」
 石亭画談 第九卷・頁一七八
 拙古先生筆記 第三卷・頁三一
 仙語記 第六卷・頁一
 増補江戸年中行事 別卷十一・頁八七
 そぞろ物語 別卷一・頁一

対鷗楼閑話

第五卷・頁三一

たいかんざつき
 だいごずいひつ
 たいへいらくみくにかたぎ
 たいもんざつき
 ちりづか
 てんこうろく
 とうとさいじき
 とのいものがたり
 とりゆうこうずいひつ
 とりようこうずいひつ

退閑雑記 第六卷・頁二二
 醍醐随筆 第十卷・頁一
 太平楽皇国性質 第九卷・頁三三五
 待問雑記 第五卷・頁二三七
 塵塚 第四卷・頁三二一
 天弘録 別卷八・頁二七
 東都歳時記 ↓「いしいしほうとうとさいじき」
 宿直物語 第五卷・頁二〇九
 ↓「とりようこうずいひつ」
 屠龍工随筆 第九卷・頁二一

な行

ねざめのとも
 ねものがたり
 ねんじゆうこじ
 ねんじゆうこじき

寝ざめの友 第二卷・頁九一
 寝ものがたり 第十一卷・頁一
 年中故事 別卷十二・頁二二三
 年中故事記 ↓「ねんじゆうこじ」

は行

はちじゆうおうむかしはなし
 はなふぶきくまでのちり
 ひんせい
 ほうかいしにつき

八十翁疇昔話 ↓「むかしむかしのものがたり」
 花吹雪隈手廻塵 別卷八・頁一二七
 貧政 第十卷・頁三五九
 豊芥子日記 別卷十・頁二九九

ほうりやくげんらいしゅう
ほくりねんじゅうぎょうじ

宝曆現来集
北里年中行事

別巻六〜七
別巻十二・頁一

ま行

まつのしたぐさ
みしよのひとのき
みんかんきれい
みんかんふうぞくねんじゅうぎょうじ
むかしむかしものがたり
むらさきのゆかり

松の下草
見し世の人の記
民間時令
民間風俗年中行事
むかしむかし物語
紫のゆかり

第八巻・頁一三一
第三巻・頁一
別巻十二・頁六九
別巻十一〜十二
別巻一・頁二九
第八巻・頁七七

や行

やそおうむかしばなし
やましろしきものがたり
ゆえはなに

八十翁疇昔話
山城四季物語
所以者何

↓「むかしむかしものがたり」
別巻十一・頁一三一
第八巻・頁九九

ら行

りよりさいじき
れいさいざつびつ
ろうぎゅうよぜん

閻里歳時記
零碎雑筆
老牛餘喘

別巻十一・頁三二五
第四巻・頁一九五
第十巻・頁二六一